



豊かな人間性と未来を創る  
力を育てる教育をめざして

第145号 令和2年(2020年)  
10月1日発行

大田区教育委員会 広報



# おおたの教育

## 今号の主な内容

- 1面 コロナウイルスを乗り越えるため、様々な取組が始まりました
- 2面 教員の働き方改革・家庭教育コラム
- 3面 病との関わりを紐解く・教科書採択
- 4面 就学通知書のご案内・大田図書館のお知らせ

©大田区

発行 / 大田区教育委員会 〒144-8623 東京都大田区蒲田5丁目37番1号ニッセイアロマスクエア5階 TEL5744-1111(代表) HP <https://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

## コロナウイルスを乗り越えるため、様々な取組が始まりました

### ～より良い学校生活を送れるよう、補正予算によって学習環境を整備します～

#### 全小・中学校 ICT 環境整備(タブレット端末追加配備)



新型コロナウイルス感染症の流行により、教育における ICT 環境の重要性が再認識されました。

今回、タブレット端末32,000台を追加配備することで児童・生徒の5.5人に1台程度であった端末を1人に1台の整備状況とします。

また、学校への支援として、一人ひとりに合わせた学びを実現するシステムを整備するとともに、教員の ICT 活用推進リーダーの育成に向けた連絡協議会や ICT 支援員による校内研修を充実させ、教員への ICT 機器活用の啓発に取り組んでいきます。

【問合せ先】 学務課学校情報化推進担当  
TEL : 5744-1432 FAX : 5744-1536

#### 健康観察用サーモグラフィーの導入

児童・生徒や教職員、その他来校者の健康観察を行い、感染リスクをできる限り回避するため、多人数の検温を効率的に行うことができるサーモグラフィーを区立小・中学校に配備します。家庭での健康状態の確認に加え、登校時にサーモグラフィーによる検温を実施します。

サーモグラフィーはハンディタイプで、登校時の検温以外にも、学校行事の際に来校者に対する検温に用いるなど、様々な場面で活用します。

また、災害時に避難所における感染症対策としても活用する予定です。



【問合せ先】 学務課保健給食係 TEL : 5744-1431 FAX : 5744-1536

#### 非接触型自動水栓の導入

区立小・中学校のトイレ手洗いの既設水栓を後付け自動水栓に付け換えます。自動水栓にすることで手洗い後にハンドルに触れる必要がなく、新型コロナウイルスの感染拡大の防止になります。なお、既にオートストップ型水栓が付いている箇所は、付け換えの対象外としています。



【問合せ先】 教育総務課施設担当 TEL : 5744-1399 FAX : 5744-1666

### ～感染症に負けない！ おおたの教育活動～

#### 萩中対話タイム (HTT)

萩中小学校では、子どもたちが対話を通して考えを広げたり、深めたり、新たな考えを創り合ったりする力を身に付けるために「萩中対話タイム (HTT)」を行っています。

感染症を防止するために、机の間にアクリル板を置き、フェイスシールドを付けて行っています。フェイスシールドを付けることで、話している友達の表情も分かり、活発に意見交換を行うことができます。



#### 体育の授業



新宿小学校では、子どもたちが集合する時や準備運動の際に、いつも以上に間隔を広くとって体育の授業を行っています。

5年生のリレーの学習では、競走による子ども同士の接触を避けることができ、バトンパスの技能を高めることができるよう、2チーム対抗でスタート位置を別にして競走する「パシュート型リレー」を行いました。

#### 動画を活用した委員会活動紹介

馬込中学校では、「新入生を迎える会」などの行事が感染症対策のため実施できませんでした。そこで、今年入学した1年生のために、3年生が委員会活動紹介の動画を作成しました。

1年生は、ソーシャルディスタンスを守りながら、3年生が作ったユーモアいっぱいの委員会活動紹介をしっかりと聞いていました。



【問合せ先】 指導課指導主事 TEL : 5744-1435 FAX : 5744-1665

### これからのおおたの教育活動

#### ICTを活用したおおたの家庭学習

大田区では、児童・生徒が1人に1台配備されたタブレット端末を持ち帰り、家庭でデジタル教材を活用した個別学習や、調べ学習をできるように目指しています。

また、災害や感染症による学校の臨時休業の際には、在宅でもオンラインによるコミュニケーションができるように準備しています。

【問合せ先】 指導課指導主事 TEL : 5744-1435 FAX : 5744-1665



# 子どもたちの未来のために、 教員の働き方改革をさらに進めます

大田区教育委員会は令和2年3月、教員の長時間勤務是正を目標とする「大田区立学校における働き方改革推進プラン」を策定しました。

本プランは、令和2年度から令和6年度までの5か年計画とし、教育を取り巻く社会的・経済的状況の変化を踏まえながら推進していくことで、限りある時間の中で教員が児童・生徒に向き合う時間を確保し、授業改善や教材研究など更なる研鑽を積む時間を持てるよう、働く環境の整備を加速させていきます。

未来を担う子供たちのために、以下の4つの施策を軸に、持続可能で質の高い学校教育の実現をめざします。

## 施策1 在校時間の客観的な把握と働き方改革への意識付け

校務支援システムの出退勤機能によって在校時間を客観的に把握し、教員一人ひとりが時間を意識した働き方を実践できるよう意識改革を進めます。

## 施策2 教員業務の明確化と最適化

教員がこれまで担ってきた業務内容が教員の専門性を必要とするものかどうかという視点で、教員業務の見直しに取り組みます。

## 施策3 学校を支える体制づくり

教員業務の軽減を担う人材やスクールカウンセラーなどの専門スタッフの配置のほか、家庭・地域の協力を得て学校を支える「チームとしての学校」の体制づくりを進めます。

## 施策4 教員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境づくり

教員が公私のバランスの取れた、充実した生活を送れるような環境づくりを進めます。



【問合せ先】 指導課学校職員担当 TEL：5744-1424、5744-1696 FAX：5744-1665

# 家庭教育 コラム

## 親としてどうかかわる？ 子どものネット・ゲーム習慣

### ◆コロナ禍の子どもたちのスマホ・ゲーム使用

休校や外出の自粛が推奨された時期をきっかけとして、どこかに連れていくこともできない子どもたちにゲーム機やスマホを使用したいと言われると、仕方ないといついつい使わせてしまうことが増えているのではないのでしょうか。子どものスマホやゲーム機の使用時間が伸びていると感じているけれど、依存にさせないためにはどのような点に注意して使わせていったらよいのでしょうか。

### ◆インターネット・ゲーム依存のメカニズム

ゲームをプレイすると脳内に「快感物質」が出て、「楽しい」「もっとやり続けたい」という気持ちになります。そうして毎日、長時間使用していると、脳は快感物質が常に大量に出ている状態の方を普通だと認識するようになります。いったんそうなってしまうと、今度は「テスト前だから少しゲームの時間を減らそう」とすると、快感物質が減ってしまいます。脳はそちらの方が異常事態だと感じるようになるのです。その異常事態を元の状態に戻そうとして、脳は離脱症状を起こさせます。ゲームをやめるとイライラしたり、全くやる気がなくなったりするのです。その不快な離脱症状を出さないために、ゲームをずっとやり続けなければならないのがゲーム依存のメカニズムです。

また、そうなってしまうと脳が快感物質に麻痺してきて、普通の人が「楽しかった」と満足できる程度の時間、ゲームをプレイして



独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター  
主任心理療法士 三原 聡子



も満足できなくなります。徐々に2時間やっても3時間やっても満足できなくなってくるのです。

こうして、満足を追い求めて長時間プレイするようになる、ゲームをやめれば嫌な気持ちになるという状態に陥ってしまいます。

### ◆ネット・ゲーム依存の予防方法

この依存のメカニズムを踏まえた上で、子どもたちをゲーム依存にさせないためには、ゲームの使用時間を少なくさせる、全く使用しない時間を作るといったことが大切です。暇だと感じた時に好きなだけゲームをさせてしまうと、常に快感物質が出ている状態を追い求めて依存になってしまいます。そのためにも、必ずルールを作って使用させることが重要です。そして、ルールを作るときには子どもにもなぜルールが必要なのか考えてもらい、子ども自身に時間を設定させることが大切です。子どもの成長に合わせてルールを見直していくことも大切でしょう。「インターネットに使われてしまう子」ではなく、「使いこなせる子」を育てるために、頭と心を使ってインターネットを使えるようになってもらいたいものです。



【問合せ先】 教育総務課教育地域力推進担当 TEL：5744-1447 FAX：5744-1535

# 病

## との関わりを紐解く

～博物館の資料と区内の文化財を中心に～

大田区立郷土博物館 学芸員 乾 賢太郎

人類の歴史は病との戦いの連続です。現在流行している新型コロナウイルスも歴史の1ページにその名を刻むことは間違いのないでしょう。日本の歴史においても病との格闘は何度も見られましたが、幕末期のコレラ騒動や明治期の結核の蔓延などが代表例と言えます。

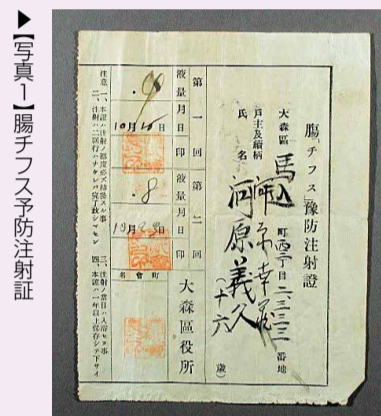
今回のコラムでは、大田区立郷土博物館が所蔵する資料や大田区内に伝わる文化財から、人々が病とどのように向き合ってきたのかを考えてみたいと思います。

急性感染症という病気があります。これは人から人へ感染し、人体に入ると発症する可能性が高い病気のことを言い、かつて流行した病気にはコレラ、天然痘、赤痢、腸チフスなどがあります。不衛生な環境であることが拡大要因の一つであり、日本では明治期から大正期にかけて幾度となく人々を襲いました。当時は本格的な治療法はなく、予防で対処しており、博物館の資料からも当時の様子を垣間見ることができます。例えば、チフス菌や天然痘ウイルスにかかることを防ぐために、人々は予防接種を受け、感染症から身を守っていました【写真1・2】。

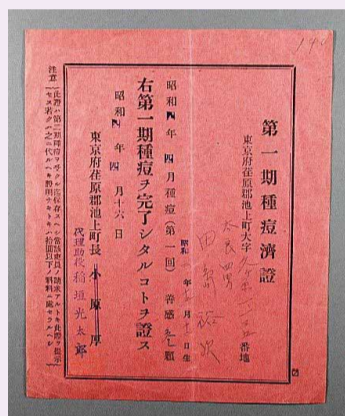
感染症に予防で対抗していた一方で、人々は人知を超える病については神仏への祈願で不安を乗り越えようともしていました。神仏に願うことを願掛けと言いますが、大田区内にも願掛けをする場所がいくつかあります。例えば、大森北にある甘酒稲荷神社は咳にご利益があったと言います【写真4】。参詣者は甘酒を入れた青竹を供えて祈願したそうです。



▶【写真4】甘酒稲荷神社



▶【写真1】腸チフス予防注射証



▶【写真2】種痘済証

新蒲田の大楽寺にある「いぼ地蔵」は体のできものを治す際に参拝されました【写真5】。できものが治まった際には豆腐を供えて御礼をしたとのこと。田園調布南の密蔵院にある青面金剛は、通称「沼部の庚申さま」と呼ばれました【写真6】。眼病を患った人がお参りしたところ、病が治ったと伝わることから、多くの人々が訪れました。



▶【写真5】大楽寺のいぼ地蔵



▶【写真6】密蔵院の修復前の青面金剛  
(大田区の文化財第33集 大田区的美術工芸より)



▶【写真3】ハイトリック

また、ハエも感染症を広げる存在であり、人々の悩みの種であったことから、人々は駆除を行いました。その道具の一つが、ハイトリックです【写真3】。動いている物に集まるといふハエの習性に着目し、ゼンマイ式のハエ取り器が大正2年(1913年)に考案されました。

願掛けのように、自らや他の誰かのことを願う習慣は、今も昔も変わりません。新型コロナウイルス感染症が1日も早く収束することを願いながら、本文を閉じたいと思います。

【問合せ】 郷土博物館 TEL：3777-1070 FAX：3777-1283

## 中学校教科用図書採択の結果

6月1日から6月30日まで開催した教科用図書展示会に、多くの区民の皆様にご来場いただくとともに、区民意見をお寄せいただきました。8月11日の教育委員会定例会、8月12日の教育委員会臨時会で審議し、令和3年度使用大田区立中学校教科用図書を採択しました。

種目	発行者	書名	種目	発行者	書名
国語	光村図書出版	国語	音楽	教育芸術社	中学生の音楽
書写	光村図書出版	中学書写		教育芸術社	中学生の器楽
社会	地理	帝国書院	美術	日本文教出版	美術
	歴史	東京書籍	保健体育	学研教育みらい	中学保健体育
	公民	東京書籍	技術 家庭	開隆堂出版	技術・家庭 技術分野
地図	帝国書院	開隆堂出版		技術・家庭 家庭分野	
数学	東京書籍	新しい数学	英語	三省堂	NEW CROWN
理科	東京書籍	新しい科学	特別の教科 道徳	日本文教出版	中学道徳 あすを生きる

【問合せ】 指導課指導主事 TEL：5744-1435 FAX：5744-1665

# 令和3年度 新入学児童・生徒の就学通知書を12月中旬にお送りします

## 【ご注意ください】

大田区は「家庭、学校、地域」が一体となって地域の子どもを見守り育てることを目標とし、地域に根ざした学校づくりを行うため、お住まいの住所によって就学する小・中学校を定める指定校制度を採用しています。

したがって、学校を自由に選択することはできませんが、指定校以外の学校を希望する相当の理由があり、かつ受け入れる学校に支障がない場合は、指定校変更申請をすることで指定校以外の学校に入学することができます。申請にあたっては右記注意事項をご確認ください。

令和3年度新入学児童・生徒の指定校変更申請の受付について、日程等の詳細はお送りする就学通知書をご覧ください。

指定校変更による受入れを制限する学校については、区のホームページでは11月下旬から、大田区報では12月1日号でお知らせします。

- 学校施設の収容人数を超える場合は、指定校変更を許可できないことがあります。
- 指定校変更希望者が受入れ枠を超えた場合は、抽選となります。
- 兄弟が指定校変更した後、弟妹が入学する年に変更先の学校の受入れが制限されて入学が許可できなくなり、兄弟姉妹が別々の学校になってしまう事例が増えていますので、慎重にご検討ください。
- 私立学校等を受験予定でも、区立校に入学するなら指定校以外の学校を希望する場合は、受験結果を待たず、受付期間中に指定校変更申請をしてください。
- 住所を偽る等、不正な手続で就学した事実が判明した場合は、入学後であっても転校していただくこととなりますので、ご注意ください。



【問合せ】 学務課学事係 TEL：5744-1429 FAX：5744-1536

## 大田図書館のおしらせ

### ●読書の秋を楽しもう！ 10月27日～11月9日は「読書週間」

「読書週間」は昭和22年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」との趣旨で始まりました。

大田区立図書館の本・CDなどの所蔵数はおよそ200万点！本の中には大きな世界が広がっています。読書の秋は図書館へ！



### ●大田区立図書館各館の 工事による臨時休館について

今年度、大田区立図書館各館では、ICタグシステム機器の設置や施設の改修・移転などの事由により、1か月程度の予定で休館を伴う工事を実施いたします。一時的にご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

休館の日程は館によって異なりますので、詳しくは図書館ホームページ等にてご確認ください。



ICタグシステムにより、自動貸出機（画像イメージ）による貸出が可能となります。

【問合せ】 大田図書館 TEL：3758-3051 FAX：3758-3625

## 小・中学校連合行事(展示会)

児童・生徒の豊かな情操を育む教育活動の一環として、小・中学校連合行事（展示会）を開催します。児童・生徒が思いを込めて表現した作品を、是非ご鑑賞ください。

展示会名	展示期間
小学校図画工作作品展	令和2年10月15日(木)～10月21日(水)
中学校美術科作品展	令和2年11月6日(金)～11月13日(金)
小学校連合書写展	令和3年1月14日(木)～1月20日(水)
中学校連合書写展	令和3年1月22日(金)～1月28日(木)
中学校技術家庭科作品展	令和3年1月30日(土)～2月5日(金)
小学校家庭科作品展	令和3年2月16日(火)～2月22日(月)

- ▼会場：池上会館1階展示ホール
- ▼開場時間：午前9時～午後5時
- ※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定が変更となる可能性があります。
- ※各最終日は終了時刻が早まる場合があります。



【問合せ】 指導課指導主事 TEL：5744-1435 FAX：5744-1665

## ありがとうございます あたたかい善意



8月24日、公益財団法人伊東奨学会から、学校教育の充実を目的とした寄付金の目録が小黒教育長に贈呈されました。寄付金は、大田区の子どもたちのために有効に活用させていただきます。寄付額：500万円

【問合せ】 教育総務課庶務係  
TEL：5744-1422 FAX：5744-1535

### 教育委員会定例会・臨時会の主な議題

- 令和2年第6回定例会(7月21日(火)開催)
  - ・ 令和3年度使用中学校教科用図書調査委員会からの報告
- 令和2年第7回定例会(8月11日(火)開催)
  - ・ 令和3年度使用大田区立中学校教科用図書採択について
- 令和2年第2回臨時会(8月12日(水)開催)
  - ・ 令和3年度使用大田区立中学校教科用図書採択について
  - ・ 学校教育法附則第9条の規定に基づく令和3年度使用特別支援学級教科用図書採択について
- 令和2年第8回定例会(9月17日(木)開催)

### 教育委員会定例会の開催予定日

- 日程 ①10月19日(月)  
②11月30日(月)  
③12月23日(水)
- 時間 ①・②午後2時から  
③午後3時から
- 場所 蒲田5-37-1ニッセイアロマスクエア5階 教育委員会室
- ※予定が変更になる場合があります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記問合せへご確認ください。
- ※手話通訳・要約筆記が必要な方は開催日1週間前までに、その他特別な配慮が必要な方は事前にご連絡ください。

【問合せ】 教育総務課庶務係 TEL：5744-1422 FAX：5744-1535